

大仙市アーカイブズ ニュースレター 第12号



大仙市マスコットキャラクター
まるびちゃん

戊辰戦争 この地域でも ～中学生の校外学習～

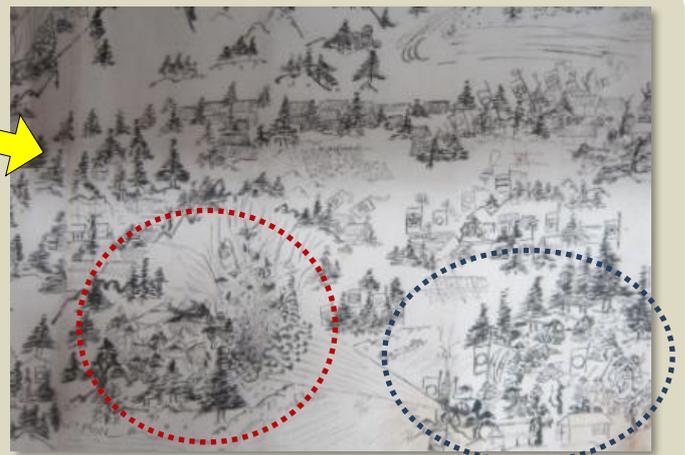
1月31日、西仙北中学校2年生の生徒51人が来館しました。社会科の授業で学んでいる戊辰戦争について、より理解を深めるため、大仙市アーカイブズで校外学習を行ったものです。当館の所蔵資料や、地域に残された資料や史跡から、この地域の戊辰戦争について勉強しました。

生徒たちに紹介した資料の一部を紹介します。



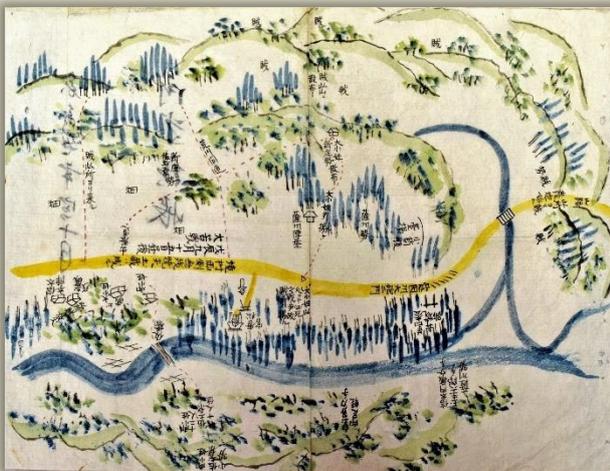
秋田戦争巻絵（大仙市アーカイブズ蔵）

旧暦9月15日、庄内藩に占領された刈和野を奪還するため、新政府軍が土川方面から進軍し、刈和野・峰吉川で激戦となりました。戦場となった刈和野では、276軒中247軒が焼失、刈和野から出兵した兵2名が戦死しました。資料は、のちに、刈和野・峰吉川付近での戦闘の様子を描いたものです。



新政府軍

庄内藩



戊辰九月十五日 境村の戦況図(個人蔵)

旧暦9月15日、新政府軍と同盟軍が境で激突しました。この戦闘により境村は74軒全てが全焼しました。

時期は、新暦の10月上旬です。住家を失った人々は、どのようにして冬を越したのでしょうか。



萬松寺（協和地域）
の戦没者慰霊碑

生徒たちは、身近な刈和野（西仙北）や境（協和地域）などが激戦地になったことに驚いた様子でした。地域の歴史について学ぶことは、地域へ愛着を持つことに繋がるはずです。この校外学習が、そのきっかけになれば幸いです。

令和3年度 公文書の評価選別結果

令和3年度の公文書評価選別結果をお知らせします。

◆評価選別とは

公文書は保存期間が定められています。期間が満了する前に、市の歴史を伝えるものや、市民の権利の証明など、残さなければならないものを選別する作業が「評価選別」です。

評価選別により保存と判断された公文書は、大仙市アーカイブズで永久的に保存され、閲覧室で閲覧できます（個人情報等の内容に応じて閲覧制限が設けられる場合があります）。

土地の権利確認や研究等への市民利用のほか、市役所の業務にも再利用され、過去の事例を参照したり、権利関係を確認するための証拠資料となっています。

評価選別結果（令和3年度）

冊数	12,448冊
保存	514冊
廃棄	11,934冊
移管割合	4.1%

閲覧数（令和3年度）

市民利用	2,375点
行政利用	166点

※2月末までの集計です。（3月分も含めた閲覧数は、6月にホームページ掲載予定の「大仙市アーカイブズ年報」をご覧ください）

◆評価選別により保存することになった公文書の一例



ファイル名：風水害(台風含)対策関係書<7/25 水害>

作成課：総合防災課

作成年度：平成27年度

保存期間：5年（令和3年3月31日まで）

平成27年7月25日の集中豪雨に関して総合防災課が作成したものです。市の対応、被害状況、避難対応などが記録されています。

このファイルは令和3年3月31日で保存期間が満了する公文書でしたが、集中豪雨の状況を伝える資料として将来に残していくことになりました。ゆくゆくは、市の対応が適切であったかなど市政の検証材料となりうるものです。



堤防が一部決壊した斉内川と洪水の様子

いべんと瓦版

新着資料展 田口松圃家資料

期間：5月17日（火）～8月20日（土）
開館時間：火～土（祝日休館） 9時～17時
場所：大仙市アーカイブズ展示室

近代大曲を代表する文化人、田口松圃を輩出した田口家の資料を紹介します。



ホームページで、これまでの展示資料を紹介しています。ぜひ御覧ください。

